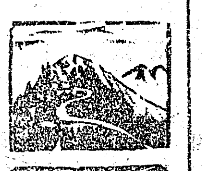
十三日夕刊

磐城每日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵稅 金十五錢
□一部賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜報欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓拾
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八五〇五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城每日新聞社
發行編輯兼印刷人 森合英



閑伽生園

漁業統制の必然生

濱の子

漁業、漁網等資材の不足や原動力となる重油などの配給統制上、戰時下銃後の大切な食糧部門を受持の漁業方面も必然的に統制の必要に迫られ、農林省が本腰で乗り出して來た。

食糧增産を奨勵する反面に斯うした統制は予盾してゐる如き印象を與へるが、大極的に見て、燃料の欽乏は聖業達[illegible]惧れ無しとせず、局部的問題としてこれを取り上げて見ても限られた燃料を以て多くのふねを動かさんとすることは、勢ひ相互に行きづまりを招き共倒れに至ること火を見るより明かである。

最近に於ける本郡七濱の揚繰網漁業は素ばらしい好漁をつゞけ、漁村は何れも十數年來見ぬ景氣に有頂天に成つてゐる時で、この際廢船するなど凡人である限り容易に首肯出來ない業である。然し前述の如く近い將來に於て、相互に苦境に立つことは嚴として動かぬ事實であるから、思ひをこゝに置き事前に善處するの途を選ぶことが翼贊体制の赤誠を示すものであつて、苟しくも私心を以つて臨むものありとせば大いに戒しむべきであらう。

然し統合に當つては勿論愼重に案を練り、縣當局並に指導的立場にある人々は强壓を加へることを避け、道を說いてなごやかに導くことが望ましい。

文藝

現時の急務は今日を焦ることばかりでなしに昨日の後始末を怠るまいとすることにあらう　（藤村）

蛇の俳句

木下雁次

和歌には蛇といふ題は見當らないが、俳句となると蛇が季題となつて詠まれてゐる。先づ春の句から

わが庵を守る蛇穴を出でにけり　千々里

春になつて暖かになつたものだから、今迄家の側の石垣の中なんかに入つてゐた蛇がのたり〱と出て來たといふ所である。『わが庵を守る』といつた所に蛇に對する親しみを見せてゐる。

蛇穴を出て見れば周の天下なり　虚子

殷の紂王の暴逆な政治に恐れて山林に隱れてゐた隱遁者が、世間に出て見ると周の文王の立派な政治をとる世の中となつてゐたといふ意味を含んで、寒冷な冬を蛇がじつと穴の中に籠つてゐる、さてぽか〱して來たなと思つて穴からはひ出して見ると世は春風駘蕩の春となつてゐるといふ意味である。

夏の句

蛇の尾のをどり消えたるむぐらかな　禪寺洞

ムグラとは庭の雜草をいふ。茫々と生えてゐる雜草の中をによろ〱とへびがはつて行く。あれへびがと思つてゐる中に雜草の中に消えてしまふ。『へびの尾のをどりきえたる』に寫實的な所が見える。印象的だ。

納屋のへび機嫌そこねず去りにけり　蛙子

田舍では母屋の屋根のあたりに青大將がぶら下ることもあれば、鷄舍に卵をとりにへびが推參することもある。納屋、即ち物置なんかにはまして盛んにへびが出る。『機嫌そこねず』が面白い所で、鎌首をもたげて人の顏を見ながら赤い舌を出して、のそり〱と姿をかくす光景である。反抗的の態度も示さず上機嫌で去つたのだ。西目躍如といふ所だ。

くちなはの衣ぬきかけし薄かな　曉台

青い薄にへびの脱殼が白くふわ〱とかかつてゐる所である。田舍の田圃なんかに見かける風景である。へびの脱殼の白く長いのと薄の細長い葉の形とに一脈通ずる氣分がある。（完）

偶會

（野茨會員）西野武道

あれから幾年すぎたかしら
淡い印象も消えかかつてゐる
偶然にも別れた場所で見た
君の姿は
もう制服では、なかつた

短歌

本社文藝部選

日のみ旗

（二本松）田中吉太郎
○日のみ旗たてゝ初出のいさりぶねゆたけき村の曙の空
○朝まだき小唄うたひて村人は出ぶね送りに濱ぢ急げり
（瀬戸）金谷清子
○叱られて弟はそつと裏庭に小鳥の飛ぶをみつめてゐたり
○誰か人神に召されて行きにしや靜けき今宵星の流るゝ
（名古屋）梅田健二
○霧深く朝日いまや出でなむとす拍手打てば鷄の羽ばたき
（茨城）小林房子
○兄征きて三度の春はめぐり來ぬ兄に代りて若水くむも

連續講談　異說赤穗浪士（いせつあかほらうし）

〔98〕

桃川若燕

畫　城木喬

鞴祭の夜

又養子の口が一つ殖えたので忠兵衛が笑ひ出した。片方は職人で片つ方は侍だ。

『暫らくお控へを願ひます、理吉お前は幸福者だぞ賞口が多い……』

理吉が賞められゝば賞められるだけ忠兵衛も嬉しく、その日はその儘家へ連れて歸ると他の小僧と同じやうに使ひ若し苛められでもすればそれとなく意地悪い小僧共を戒めたので一同も、

『理吉どん〱』

とかばふやうになつた。とその年の十一月、冬の聲を聞いたので紀州から密柑をドン〱送つて來て店が大層忙しくなつた。それに十一月八日は鞴祭と云ふのがある。これは鍛冶屋とか、又は火を使ふ商賣の者が、どうぞ來年も商賣繁昌になるやうと鞴祭と云ふものをして密柑を飾つたもの、それ故店は殊の外に忙しい、忠兵衛は八日の書入れ日に大層儲かつたので店の者一同に小遣をやつて十日は稼業を休ませ、自由氣儘に遊ばせ夜になると無禮講といふので酒の好きな者は酒を吞ませ饅の好きな者には丼を取つてやり、菓子の好きなものは澤山出してやつたから店の者は大喜で、

『オイ新どん』

『エヽ』

『家は旦那は物判りのする人だね――』

『ウン』

『人を使へば使つたゞけの事はするからな、話しを聞いたんだが、織田信長つて大將が然うだつたとさ』

『フーン』

『何處の城を攻めろと云ひつけて戰に勝つて來るとその城をやつたり領地を惜氣もなくくれたさうだだから家來が一生懸命働いたんださうだよ、それに引換へてお向ふの遠州屋の旦那を御覽、人使ひが荒いのに金使ひは細かいつて話だよ』

『何んにしても家の旦那は偉いよだがお內儀さんに甘いのは玉に瑕だな』

『シツ〱大きな聲を出すなよ、壁に耳ある世の習ひつて云ふぜ』

『然う〱』

大勢の者は大騒ぎをやつて寢てしまふ。理吉も同じやう小ぞう連中に交つて菓子を食つたり密柑を頬張つたりして騒いだ末、夜更けたので寢たが、暫らくすると襟元にサッ〱と風が當るので、

『アヽ寢いな』

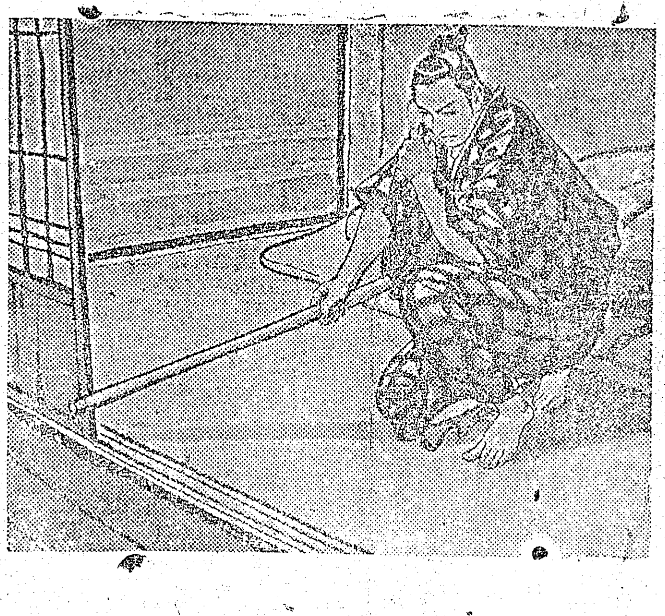
と思ひ乍ら目を開けて見ると、廊下の外に人の居る氣配がしてコト〱と音がする。

『ハテナ、今時分廊下で何をしてゐるのだらう、寢呆けて便所を間違へたのかな――』

それにしても變だなと思ひ乍ら音を立てぬやう、密つと起き上り障子の隙間から廊下の光りに映し出された人影は見馴れぬ覆面の男、

『オヤ〱見掛けない人だなハヽアこれだな、泥棒つて云ふのは――何をするか見てゐてやらう――』

と息を殺して覗つてゐるとも知らぬ覆面の男は廊下から奧の座敷に入り、何やらゴト〱やつてゐたがやがて出て來ると懷へ手を突つ込み、足音を忍ばせて廊下にかゝつて來た。



『ウム、何か盜つたな、よし何うするか見てゐろ――』

と勝氣な理吉は傍においてある上窓を開ける三尺棒を手に取ると、障子の破れからツーと突き出した泥棒はそんなものがあるとは知らない、明るい座敷から眞暗い庭口へ來たので先が見えないので手探りでそれへ來る、理吉は三尺棒を力一杯握りしめると、呼吸を計つて泥棒の股の間の大事なところをパツと突いた。

トンカツ
とんかつ專門の店
平市仲田町
かの家
電話四六五番
出前は迅速におつとめ致します

三笠燒　味自慢
色羊羹　風味萬點
平驛前中央通
米屋最中店
モナカ屋がお茶受御土産として始めました、どうぞ最中と同樣御贔負を願ひます

專賣特許二〇五九二三號
節の素
營養に富み最も經濟的な「調味料」（二五〇瓦入 定價六八錢）
▼味と營養價値…味は鰹節と變りなくヴイタミン、カルシューム、沃度を多量に含んだ榮養味、
▼原料…新鮮な鰮の骨肉共に粉末にしたものに海草類を加へ、完全に脫脂精製したもので風味最も佳良な調味料
▼用途…鰹節や削り節の代用品として又味の素の代用も可（保存五年保證）
▼經濟的價値…鰹節三圓に對し十五錢の割合煎子一圓三、四十錢に對し十五錢の割合で充分足る
▼主なる納入先…日本赤十字社、陸軍偕行社、陸海軍々需部共の他
特約店
平市古鍛冶町 佐藤陽傳商店
平市鎌田町 菅野勘助商店
賣店土橋 鹽屋商店（電話十番）

肋膜。氣管支。關節。神經痛。肺炎。ロイマチス　扁桃腺。中耳炎。骨膜腰痛。[illegible]疾に
漢方新藥
濕布で名藥
生公華
藥價 二圓五十錢 四圓 八圓
平市五丁目角
專賣店 山野邊藥局

食事。
喫茶。
酒場を兼ねた。
レストラン　サロン
營業時間
開店…午前十時
御食事は午前十一時より、
閉店…午後十一時限り、
平市銀座街
電話五九二番

三鑑定三
疾病、職業、天運、家族運、男女緣
名前のみで一代の運命がわかる……
平市紺屋町
鵜沼孝昌

＝氣分のよい＝
＝皆樣本位の＝
＝喫茶と洋酒＝
小名濱町上町
紅椿
【女店員募集】

曳前の御知らせ
漁船家屋其他動産の移動
土木建築請負
鐵道船舶仲仕請負
一般
御希望の方は一應御相談下さい
小名濱町榮町（築港地內）
北村芳藏

和洋銅鐵、金物問屋
久
釜屋商店
電九・九九

タンス・鏡臺
御婚禮調度品を取揃へました
是非
和
和久井屋へ
御越し下さい
平市一丁目（電話四〇五番）

時局の生んだ新案特許
日の丸習字板（第二八〇五七八號）
使用法…半紙節約ノ目的ニテ墨デ書イテ濡雑巾ニテ拭ツテ置ケバ何回ニテモ使用出來マス
實用新案（メモ板 第二七七九〇四號　野球ベール 第一七九七三號　興亞ノート 第二四七九八號）
專賣特許 興亞厚紙 第(イ)一七三六〇號 第(ロ)一七三六一號
合資會社 興亞特許商事
同工場 月見町三三

酒
乙な所で
おでん
味[illegible]
平三田小路

△入院隨時▽
エツキス光線科
外科、內臟外科
院長 安齋徹
安齋醫院
平市田町 電五四七

外科、內臟外科
肛門病、皮黴科
泌尿生殖器科
專門
（看護婦及見習看護婦募集）
白土醫院
平市鎌田町 電二七九

內臟外科
整形外科
▽入院隨時△
內木外科醫院
醫學博士 內木宗八
平市大町

耳鼻科
咽喉科
▽入院應需△
增田醫院
醫學博士 增田之
平市紺屋町 電六五一

平市紺屋町
吉田眼科醫院
醫學士 吉田久雄
番話六八番

外科（內臟、整形）
肛門科、性病科
レントゲン科
上田外科
院長 上田耕作
平市南町 電一二九

產科、婦人科
（見習看護婦入用）
井坂醫院
平市田町 電五五九

耳鼻科
咽喉科
專門
（入院隨意、病室完備）
大和田醫院
平市南町六
電話一七〇番

眼科專門
眼鏡檢定
重田眼科醫院
平驛前

內臟外科
整形外科
レントゲン科
松村外科
松村醫院外科部（平市南町）
醫學博士 松村亨

皮膚科
泌尿器科
性病科
江尻醫院
江尻伊三郎
平市田町 電六九一

工費不足で停頓の新川工事促進運動

新川の改修工事は昭和十一年工費四十萬圓で着工し現在尼子橋附近まで進捗を見てゐるが資材の騰貴などから工費に不足を生じ殆んど停頓狀態にありこのまゝ中止すれば洪水等の場合從來と同じ慘害を受けることになり、佛作つて魂を入れぬ結果と成る爲憂慮されてゐるがこれが促進を期すべく今十三日の市會へ左の如き建議案提出滿場異議なく可決議長氏名で委員七名選任縣及內務省へ運動することに成つた

☒委員野崎議長　蓮沼副議長　山野邊　藤田　萩原　川崎　關內

建議案

一、新川改修工事費增額並に工事速進運動に關する建議

理由

縣費支辨新川改修工事は昭和十一年縣は上流より著工し既に平市の西端咽喉部たる尼子橋々畔に至りたる處、突如工事を中止し今や全く停頓の狀態にあり（中略）然も同設計に依る工事費の豫算總額四拾萬圓は昭和十年頃の裁定なるを以て今日に於ては工事の實際に則し甚だ低額に失し施行上の支障尠からざるものありと聞く平市は同工事の完成が當地方に於ける根本治水策なるに鑑み是れが積極的工事の速進を圖り且つ工事費の增額に關し縣當局並に內務省に夫々運動して一日も速やかに改修の實現を庶希するものなり右に關し平市會は目的の貫徹を期し委員七名を擧げて極力運動に當り是れが達成を企圖せんとす右及建議候也

增學級の寄附金問題

二萬圓の割當決定

町村平均四割、入學率に六割

今春四月の新學期から增學級決定した縣立磐城中學、同磐城高女兩校の建築費八萬圓の寄附割當ては舊臘中石城町村長會で

平市	三五、〇〇〇圓
全一般寄附	一五、〇〇〇圓
石城町村長會	二〇、〇〇〇圓
兩校友會	一〇、〇〇〇圓

と決定、町村長會では公平に二萬圓を分擔すべく町村別の入學生率を調査中漸やく判明した爲、二萬圓の內全町村の平均割當八千圓（四分）生徒入學數に一萬二千圓（六分）として計算の結果町村別の負擔は左の如く決定、町村長會は二十日頃招集して正式に承認を求めることに成つた

泉村	五六〇、二八
渡邊村	二八六、五〇
植田町	九三四、四四
山田村	三〇四、七五
錦町	四五九、八八
勿來町	六九七、一六
上遠野村	三〇四、七五
入遠野村	三八六、五〇
川部村	三五〇、三八
田人組合村	二七七、三七
飯野村	五一四、六四
夏井村	四七八、一四
高久村	三九六、〇〇
豐間町	四一四、二六
江名町	四九六、四〇
鹿島村	三三二、一五
小名濱町	一、二六二、九四
玉川村	三八六、八八
磐崎村	六九七、一六
湯本町	一、五三六、七二
內郷村	二、一五七、二六
好間村	一、二九九、四六
赤井村	六八八、〇三
永戸組合村	二九五、六三
三阪組合村	三一三、八八
神谷村	五七八、五二
草野村	六八八、〇三
大浦村	五二三、七八
四倉町	一、二三五、五八
大野	四四一、六四
下小川組合村	五一四、六四
川前村	二八六、五〇
合計	二〇、〇〇〇圓

平市割當ての寄附金

三萬五千圓承認

市立高女案の希望も出る

縣立磐中、磐女兩校の學級增加に依る平市負擔の三萬五千圓寄附案を決定する市會は十三日午前十時半開會、野崎氏欠席の爲蓮沼副議長が議長席につき市長から學級增加と八萬圓の寄附割當てについて經過說を明、萩原、金子、永山各議員から寄附額の內容について質問あり『將來市立高女を建設すべし』の希望に對し市長から『次の機會にお話したい』と意のある處をほのめかし滿場異議なく寄附案を承認

時代色を映す

流行歌の變遷史

『明治、大正、昭和』

福島縣第一回慰問使　演藝家　中島湖洲述

明治篇

①

時代はめぐる……流行歌はその時代の風潮を唄ひながら新しきを求め、變轉極りなかつた、明治初年からの流行歌を追うて社會の時代相を見るのも、徒事でないと思ふ、

筆者の中島湖洲氏は紹介するまでもなく縣慰問使に選ばれた街の演藝家で、演歌者と稱されてゐた頃の流行歌手である、時代は『演歌者』を『艶歌師』に變へ、そして時局の風潮に流されて街から姿を消した、

明治、大正、昭和の三代に涉つて活躍し、街の底から大衆に呼びかけた演歌者は、眞に時代の伴奏者であつた、

演歌者の讀賣歌の中から、多くの流行歌が生じた『流行する』といふことは「人心に投ずる」といふ事に成ると思ふ、だから流行歌は其時代の民衆に迎合したもの、言換れば其時代風潮の再現されたものが流行歌なのである、

然し其流行の機微に至つては誠に微妙である、民衆は決して强られて唄ふことをしない如何に優れた歌を如何に宣傳方に托したとしても、流行らないものはどうしても流行らない、如何に愚劣な歌でも流行る可きものは自ら流行り出す、

大衆は必らず何等かの點で自身の心に共通するものがなければ之を採らないと思ふ、從つて流行歌謠の變遷史は其まゝ時代相を現すの歷史だと言ふ事も謂ひ得る、

然もそれは乾燥無味な單なる記錄でなく、色彩と匂ひと響きとを持つた多分に人間的な記錄である、

私達はそこに人間の朗な笑ひと、悲しい惱みと、狂ほしい叫びを聽く事が出來、そこに『大衆』といふ人間の步みを顧みることが出來る、

それ等の流行歌を多く持つたといふことに於て明治、大正昭和史上に演歌の占める位置は實に重要である、屢々それが下賤な表現を持つたからとて默殺することの出來ない理由がある、

其演歌の壯士時代書生節時代を經て純職業時代に至る歌謠を採錄しようといふのであるが、世上書紙に引用される演歌は常に誤謬を伴なつて居る樣である、

殊に一種の語り物とも見られる長歌は記憶違ひの傳はれる事が少なくないので出來得る限り洩れなく誤まりなきを期しつゝ若干の解說を附して行く意圖であるが其前に當つて維新より明治二十年の間の即ち演歌以前の流行歌に就て書いて見やう

維新より明治二十年の俗謠

明治初期の流行歌は主として在來の小唄俗曲の類であるが中に著しく異色を見せたものは品川彌二郎さんの作で「都風流トンヤレ節」であつたこれは戊辰の役に官軍の士氣を鼓舞するために作られた一種の軍歌であつたが、同時に新らしい時代への行進曲を奏でるものとして一般の流行歌となり色々の改作が大變流布した歌である、最近この唄が街で唄はれてゐるのも時代の現れと見るべきであらう

☒トンヤレ節

宮さん〱お馬の前で
ヒラ〱するのは何じや
いなトコトンヤレ
　トンヤレナ
あれは朝敵征伐せよとの
錦の御旗じや知らないか
トコトンヤレトンヤレナ

その作替の一節に次のやうな當時のモダンガールを唄つたものもある

姉さん〱お前の頭に
ぐる〱卷いたは何じやい
な
トコトンヤレトンヤレナ
これは流行の束髮
いぎりす結びを知らないか
トコトンヤレトンヤレナ

新川町の道路敷地（內郷村大字宮三富彌作所有）買收も異議なく可決、四百二十六圓追加豫算案も決定した、追加の內譯は次ぎの如く可決

▽經常部に於て翼贊會の事務增嵩に伴ふ消耗品費四百四十一圓、印刷費五百七十圓其の他で役所費が一千百二十九圓增、警防費に於て訓練資材雜費等四百圓增し、土木費で八百五十五圓豫備費一千四百十五圓減額

▽臨時部は土木費（土地買收と鎌田町修繕費）千六十七圓增加し經常部と臨時部を合計して四百二十六圓

區長の任免

區長の解任並に新任された區長と區長代理は左の如し

解任區長

第三區長　山野邊大五郎
〃區長代理　塙　幸吉
第十八區長代理　根本忠吉

新任區長

第三區　水野　晃
第十八區　白土德彌
第三區長代理　小泉民三
第十六區長代理　三本杉榮七
第十八區長代理　阿部治作

平局の貯蓄報國運動

仙遞管下隨一

貯金の純增高一七九、七九六圓

百二十億の貯蓄を目標に進んだ十五年度平郵便局總決算は次の如く二百二十八名の局員の貯蓄報國精神が奏功して仙台遞信局管內第一位の成績を收めた

▲貯金純增高、百十七萬九千七百九十六圓▲簡易保險△成人保險金額百三十七萬二千二百八十八圓、加入數五千五百四件△小兒保險金額三十三萬八千二百圓、加入數一千八百八十五件▲郵便年金加入者百七十名年金額一萬九千四百圓の激增▲公債四十萬五千九百二十圓で十四年度の二十三萬余圓の約倍▲債券△報國三萬四千九百圓△貯蓄三萬三千九百六十圓

製箱の〃闇〃に斷

個人取引禁止

需要、供給の双方で組合結成

資材の拂底により魚箱魚樽製箱新他の製箱類は著しき高騰を來し殊に昨今の如く海產物並びに加工品の出荷激增に伴ひ海岸方面には頻りに闇取引が行はれてゐる狀態で之が取締りの急務なるに鑑み平署では十二日午前十一時から管內製箱製材業者代表及び需要者側の海產物商加工者及び首腦者二十餘名を會議室に集め〃闇防止〃の爲先づ箱製色の個人取引を禁止すると共に公定價格を決定向後『生產組合から需要者組合』へ配給する事とした因に製材業者は磐城製材工業組合を結成兩三日中に創立總會を開く筈一方需要者側でも小名濱、江名、豐間の地區別に急速に組合を設け配給の圓滿する事となつた

磐東銀行の決算總會

當期純益六〇九二圓

石城郡植田町磐東銀行の第九十回定時株主總會は二十四日午前十時半から同行樓上に開き今年度下半期の決算案を附議するが重役會で決定した當期純益金は六千九十二圓六十四錢で、前期繰越金一萬一千三百四十二圓五十錢を合し計一萬七千四百三十五圓十四錢を左の如く處分する

◁金一千圓、法定準備金△金二千圓、別途積立金△一千圓、退職給與金△金一千七百七十圓、株主配當金金一萬一千六百六十圓、後期繰越金

尙任期滿了の取締役江尻博孝金成通、金成金三氏の改選を行ふが何れも重任する模樣である

沿岸漁業振興策に

觀測船配置か

測候所で海洋觀測船を申請

小名濱測候所では沿岸漁業、就中鰯揚繰漁業振興に側面から援助すべく從來の水溫觀測より更に一步進め、海洋觀測に乘出すべく二、三十トン級觀測船の配置方を氣象台に申請することに成り準備を進めてゐる

從來の海洋觀測は主として縣水產試驗場の指導船磐城丸が行なひ、測候所は單に水溫の觀測等に止つてゐる爲磐城丸が遠洋漁場探查に出航すると沿岸の海洋觀測が留守勝となり、揚繰漁業などの指導に尠なからず不便を來してゐる爲、當業者は觀測船の配置に期待かけてゐる

暖かつた冬に

寒波來る

但し『感情的な寒さ』

きふの日曜日邊りから寒さも一そう肌に沁み〃暖い冬〃もグンと氣溫が降つたやうに思はれるが、小名濱測候所の富山技手にこの電擊的な寒波を聞く

水銀計は相變らず同じです寒いと云ふのは休感的で、實際は未だ例年より二度內外の高溫です、唯だ折々吹く北寄りの風が一寸肌に沁み込む譯で〃感情から來る寒さ〃ですよ……

玉川村合併反對は

獨斷に不滿か

村民の協調を要望される

小名濱町對玉川村の合併問題は兩町村會を萬場一致で決議したに拘らず、玉川村側の村民は餘りの電擊的早技に茫然自失の狀態であつたが「村民の輿論を無視した合併決議は認めぬ」と反對運動を起すに至り、岡小名、林城、富岡の三大字を除く七大市村民の反對調印を求め過般來縣廳及び內務省、翼贊會方面に陳情し注目されてゐるが、宮內村長は村民不隱言動に姿を隱してゐるらしい

小名濱、玉川兩町村の合併は地理的に人の和に於て一丸となるべき運命にあり今回多數村民の反對は村當局及び村議等が輿論に問はず獨斷專行であつたと云ふ處に不滿を購つたもので飽迄合併に反對すると云ふものでないらしく、爲めに反對理由なるものも何等取立てるものもないのである

泰東書道展

入賞發表

常磐書道研で十九名

第十一回泰東書道院展覽會は東京府立美術館に於て開催、平產婆學校內常磐書道研究會の中小學生部出品は全員入選其の內入賞者左記の如し

▽東日、大每新聞社賞、第一校尋一齋藤修一（町南）同第一同尋二吉田昭一（才槌小路）同第一同尋三菊地淳（堂の前）同第二同尋四宮川尙子（田町）

△泰東書道院賞、第二尋一山田ヒロ子（仲町）同第二尋一鳥海悅子（田町）同久之濱校尋二佐藤絹子（久之濱町）同富岡同尋二菅原弘（富岡町）同第一校尋二小田昭八（二丁目）同第一校尋二山崎勳（一丁目）同第一校尋三志賀昭美（才槌小路）同第一校尋四飯沼省一（田町）同第一校尋四佐川富保（堂の前）

▽泰東書道院褒狀、第二校尋三山崎弘子（古鍛冶町）同第二校尋三增田智津子（才槌小路）同第一校尋三吉田眞雄（紺屋町）同第二校尋三坂本加乃子（仲町）同第二校尋三長谷川和子（南町）同第二校尋六飯沼美惠子（田町）

平署管內製材業者が

工業組合結成

平署管內製材業者約四十三名は一丸と成つて製材工業組合を設立することに成り昨十二日午前十時から平署會議室に下打合を行つたが創立總會は來月七日午前十時から平署會議室に開く

同組合は魚箱、樽等の個人取引の絕無に乘出すもので取引はこれと別に販賣組合を設けて販賣を一任することに成つたが同組合の年產數量は百萬箱の豫定である

債券詐欺の橫山が

又も毒牙を延ばす

私文書、印鑑僞造詐欺發覺

十數萬圓の債券詐欺事件で地方を騷がせた平市仲間町五五橫山久（三九）は懲役二年の刑を受け宮城刑務所に入獄昨年七月一日出所するや持前の天才を發揮し嘗ての被害者たる元平市役所庶務主任平市仲間町松本充弘（五〇）方に至り『とんだ迷惑をかけて濟まなかつた被害者諸君に何んとか金を拂ひたいが現在隱匿して居いた八千圓を元手に順次好況を辿つてゐる報國債券賣買で御返ししたいと思つてゐるが、資金が少し足りないから事業資金の意味で貸して貰ひたい』と噓八百並べ松本に納稅組合の金を二千余圓流用させてまんまと詐取したのを手初めに毒芽を延ばし、十一月一日に至つて同じく元被害者平市南町カフエー大國事福田富啓から茨城縣某驛長の名義で印鑑、私文書僞造千二百十圓を詐欺、この外平市田町尼忠事山口ヨシノ、大崎洋服店大崎正町二、仲間辰の口酒店外數名の元被害者から前記同樣、事業資金名儀で約二千圓を絞出たが資金の大部分は遊興費に當て返濟の途がないので犯罪を穩蔽すべく遠く北海道、東京方面に高飛びしてゐた處をこの程平署の手配で東京市杉並署に檢擧された

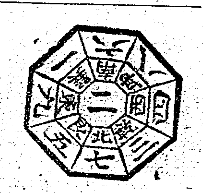
平署では七日菊地、笠原兩刑事が出京身柄を引取り印鑑、私文書僞造詐欺事件で余罪尙ほあるらしく目下取調中である

市是調査會で

五部門設置

平市參事會へ委任されてゐた「市是調査委員會」に關し左の五部門を設けた旨吉田（實）議員から報告あり追つて委員を任命することに成つた

△第一部、財政△第二部、敎育△第三部、產業△第四部土木交通△第五部、警防、衛生、水道



舊十二月十七日　火曜　壬戌　佛滅　牧　宗宿　新一月十四日

▲一白　本分を守り健康を念じ安泰に過すべく祈れ
▲二黑　足並を揃へ圓滿に業務を勵まるれば至極吉
▲三碧　輕進短慮を愼しむが年中の平安を保つ指針
▲四綠　心靜かに空想に馳せす順路を辿らば咎なし
▲五黃　苦を忘れ心の悶えを解き終日を愉快に過せ
▲六白　氣を樂に大船に乘りたる心持にて進めば吉
▲七赤　漸次に繁昌を來たさんとする日萬の計晝吉
▲八白　業務繁榮一家和氣に滿ち屠蘇の醉も增さん
▲九紫　一切の勞苦は新春に際し消滅して吉に向ふ

民族の祭典

十四日から八日間上映　聚樂館

民族の祭典上映に就て

世紀の映畫民族の祭典は一月十四日より二十一日迄平東寶映畫劇場聚樂館に於て上映致す事に決定致しました

本映畫は陸軍省より民族精神の高揚に資することと一般國民の體位向上によい感銘を與へることが認められ厚生省よりも同樣な點で更に進んで本映畫と工場團體の勤勞者に見せて身體の鍛錬と堅實なる思想の涵養に資すべく後援を惜しみます・文部省よりは何よりも先づ映畫法の規定に依る完全なる文化映畫であることを指適され、本映畫は如何なる小、中、女學校の生徒にも進んで觀覽せしむることが出來るし、學校當局としても安心してこの映畫に生徒を托することが出來ると申されて居ります

前記陸軍省、文部省、厚生省の三省より推薦され正に世紀的な大映畫であることは御了知の事と存ぜられます

本映畫を皆さん方が御覽下さることは、四年も經ちまして非常に遲れてゐる樣な感じをせられるかも知れませんが、目下非常時局に際して本映畫を觀ることに依つて如何にドイツがこの戰後國民體位向上のために全力を注いだかと云ふことが解ります、あの大戰の第一線に於きまして自ら三軍を叱咤激勵して居りますその形と同じやうにヒットラーがこのオリンピックの二階に參りまして味方の選手を鼓舞激勵して居つたのであります、要するに今日再びこの大戰爭を見る時にありオリムピックは今日の準備であつたとも言ひ得るのであります

皆樣是非共御觀覽下さいまして、三段跳、マラソン、棒高跳と三度び日章旗が空高く飜へるを見、壯嚴な君が代が大スタヂアムの十數萬の觀衆の上に靜かに流れるを聽く時我々は感激が胸に迫り來ることを禁ぜられません

國の譽れ民族の誇りこれに勝る歡びがあるだらうか!!本映畫に依つて我等は强く自覺するのだ!!!高い誇りを以て鑑賞出來るオリムピア優秀映畫であることを繰返して御奬め致します

場所平東寶映畫劇場

聚樂館

御會葬御禮

昭和十六年一月十三日
平市田町
三浦桂次郎
男　三浦富美男